理科（1年）学習案内

1．使用教科書・教材　　新しい科学（東京書籍）
　　グラフィック　理科資料集（新学社）

2．学習の目標

理科を通じて、
① 自ら問題を見出し、自然を探求する能力や態度を育てる。
② 科学的な知識や概念を実生活に関連付けながら、科学的な見方や考え方を育てる。
③ 自然に対する総合的なものの見方を育てる。

3．評価の観点・方法

評価の観点		方法
知識・技能	・科学的な知識を身につけている。 ・観察や実験に関する知識を身につけている。 ・目的意識をもって観察・実験などを主体的に行うことができる ・観察や実験は安全に取り組むことができる。 ・観察や実験では得られた数値や情報をグラフや表などで適切に表すことができる。　　など	・定期テスト ・小テスト ・授業での活動状況 ・ノート ・実験レポート
思考・判断・表現	・観察や実験では自ら適切な計画を立てることができる。 ・目的意識をもって観察・実験などを主体的に行うことができる。 ・得られた結果を分析して解釈し、言葉に表すことができる。　　など	・授業での活動状況 ・定期テスト ・実験レポート ・ノート
主体的に学習に取り組む態度	・聞いたことについて、言葉や動作などで反応している。 ・間違うことを恐れず、積極的に自分の考えなどを話している。 ・積極的に観察や実験に取り組んでいる。 ・実生活の疑問を理科の学習と関連付けながら学ぼうとしている。など	・授業での活動状況 ・定期テスト ・実験レポート ・ノート
（1）上の観点について、それぞれA～Cの３段階で評価する。 （2）学習のまとまりごとにA～Cの観点別評価を総合して、１～５の５段階で評定する。		

5．学習計画

	単元	学習のねらい・評価	学習内容・活動
前期	いろいろな生物とその共通点	・身近な動植物についての観察・実験を通して、生物の調べ方の基礎を習得するとともに、生物の分離をすることができる。	・生物の観察と分類のしかた ・顕微鏡や双眼実体顕微鏡の使い方 ・スケッチのきまり ・植物の分類　・生物の分類
	身のまわりの物質	・観察・実験の方法、器具の操作、記録のしかたなどの基礎的な技術を習得するとともに、科学的な見方・考え方を身につけることができる。	・物質の性質による区別の仕方 ・実験器具の使い方 ・気体の性質と集め方 ・ろ過の正しい仕方 ・物質の状態変化
後期	身のまわりの現象	・実験から得られた情報をグラフ化し、分析することができる。 ・日常生活と関連付けて考察することができる。	・物体の見え方と光の進み方 ・音が伝わるしくみや音の速さ ・力のはたらき ・圧力と圧力の求め方　・水圧と浮力
	大地の変化	・野外の観察結果やモデル実験など具体的な体験を通して、科学的に思考・表現することができる。	・火山噴出物の種類と特徴 ・火成岩のつくり（火山岩, 深成岩） ・地震のゆれの大きさや伝わり方の規則性 ・地層のできかた ・示相化石と示準化石 ・地層からわかる環境と年代